

写真提供：認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」

© JCV

相互理解と利益に基づいた 誠実な事業活動の推進。

CSR に対する考え方と推進体制

当社グループでは、「企業ビジョン」に基づく「行動規範」において、社会の一員としての在り方を示し、「基本と正道」を歩むことをうたっています。すなわち、国際社会の一員として、社会と調和した誠実な事業活動を行うことを基本とし、地球環境に配慮したモノづくりと従業員が働きやすい会社を目指しています。

また、「CSR 活動取組方針」を制定し全社員の CSR に対する認識向上に努めるとともに、CSR 推進委員会が環境保全や社会貢献などの活動を一元的に取りまとめることにより、CSR 経営を積極的に推進しています。

環境活動への取り組み

当社グループは、1993年に「日立電線環境保護行動指針」、2005年4月には、ステークホルダーとの相互理解と協力関係強化を盛り込んだ「環境保全行動指針」を策定しています。これら指針のもと、社会貢献と環境保全活動を推進しています。

環境に配慮した製品・技術

当社グループは、「『伝える』をきわめる」の企業ビジョンのもと、地球環境に配慮した製品の開発・製造をしています。特に、次世代の製品開発に当たり、環境負荷をできるだけ低減する独自の「環境適合設計」を推進し、日立グループで進めている「環境適合製品」

の基準をクリアする仕組みを設けており、2008年2月末現在で、環境適合製品は129製品を登録しています。また「環境適合製品」のうち、特に優れた製品である「スーパー環境適合製品」にも、「高性能伝熱管サーモフィンHGL」と「鉛フリーの錫めっきFFC」の2製品を登録しています。

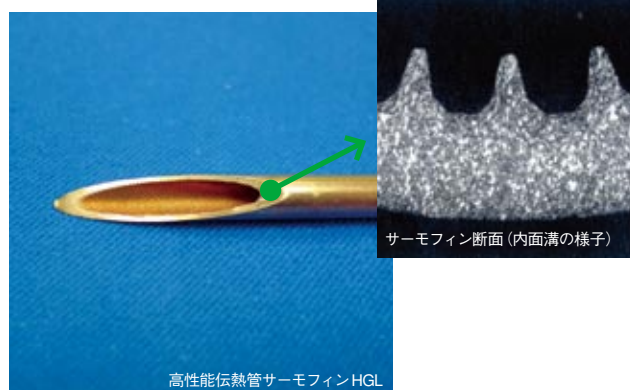
また、2007年12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2007」と、2008年3月にベトナムのハノイで行われた「エコプロダクツ国際展2008」にこれら環境適合製品を出展し、来場者から好評を得ています。

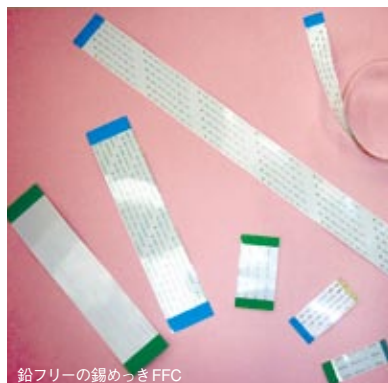
環境負荷低減への取り組み

当社グループは、国内事業所のCO₂排出量を2010年度に、1990年度比7%

環境活動の最終目標値と実績値

| | 2007/3 | 2008/3 | 最終目標値 |
|------------------------------|--------|--------|-------|
| CO ₂ 排出量 (kt / 年) | 279.1 | 260.6 | 274 |
| VOC 排出量 (t / 年) | 660.4 | 692.3 | 488 |
| SF ₆ 排出量 (t / 年) | 2.38 | 2.38 | 2.38 |
| 廃棄物の最終処分率 (%) | 1.1 | 0.46 | 1 以下 |





鉛フリーの錫めっきFFC



エコプロダクツ国際展 2008



シハヌーク・イオン博物館

削減することを目標に活動していません。高効率設備への切替えなど各種省エネ活動の推進を行ってきましたが、生産量の増加に伴い排出量が増加傾向にあるため、ゴム加硫缶加熱や空調などに使用しているボイラをA重油から都市ガスへ、銅溶解炉・銅加熱炉などに使用しているブタンガス・灯油を都市ガス・液化天然ガスに転換し、2000年度比9,800トンのCO₂排出量を削減しています。

社会貢献活動

<「ecoCAP運動」への参加>

「ecoCAP運動」は、ペットボトルのキャップを分別収集し、資源として再利用することにより、炭酸ガスの削減に取り組むとともに、世界の子供たちに各種感染症のワクチンを寄付する市民運動です。当社グループはこの趣旨に賛同し、2007年11月から同運動への協力を行っています。今では毎月2万個から3万個程度のキャップを本社、日本国内の工場・支社・支店、グループ会社から収集し、ecoCAP運動の推進団体に送付しています。2008年3月までの収集実績は累計63,720個となりました。

<財団への寄付>

当社は、社会貢献活動の一環として各種財団への金銭的寄付を行っています。寄付を行っている主な財団は以下のとおりです。

米国：日立ファウンデーション

日本：癌研究会（癌研究所）、スポーツ振興資金財団、小平記念日立教育振興財団、日立環境財団、倉田記念日立科学技術財団、日立国際奨学財団、日立みらい財団

<災害復興支援>

当社は2007年7月16日に発生した平成19年新潟県中越沖地震の被害に対する復興支援として、新潟県に総額300万円の義援金を寄付しました。

<世界的文化遺産への貢献>

世界的な文化遺産であるカンボジア・アンコールワットを多くの人に知ってもらうために、2007年シハヌーク・イオン博物館が建設されました。その中で、アンコールワットの仏教寺院バンテアイ・クディ遺跡から出土した大量の仏像などの発掘状況の正確な復元展示が注目を集めています。これを実現させたのは株式会社日立製作所が有す



ワクチン接種の様子

写真提供：認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」

当社グループは、同委員会の活動を間接支援しています。

る3D技術と、日立グループの経済的支援でした。当社も日立グループの主要な一員として、このプロジェクトに参画し、アンコールワットの文化的意義の普及活動に寄与することができました。